

第9回 研究者と実務者による国際協力勉強会 (JICA 大阪・民博・阪大 GLOCOL セミナー)

国際協力を効果的に進めていくためには、開発問題や途上国事情に詳しい研究者と国際協力事業の実務者との対話が必要です。本勉強会を通じて、研究者は実務の現場を知り、自身の研究の実践的価値を検討することが可能です。実務者は日頃の自分の経験を振り返り、業務中に生じた疑問に対するヒントを見つけたり、より包括的な立場から国際協力について考えることができます。

また国際協力／研究に関心のある方ならどなたでも、本勉強会にご参加ください。国際協力／研究の「現場」に触れられます。開発研究・地域研究・人類学に興味のある方、NGO スタッフ・コンサルタント・ボランティアとして国際協力に関わっている方など、多方面からのご参加をお待ちしています。

【日時】 2009年3月19日(木)18:40～20:40

【場所】 JICA 大阪(茨木市)

【プログラム】

18:40 開会

18:40-19:30 <報告>モンゴルの自然保護が結ぶ理論と実践

モンゴル国オブルハンガイ県・オンギー河流域の調査研究の後、オンギー河保護運動(自然保護運動)を JICA の草の根技術協力事業として発展させたい(現在、申請中)と考えた経緯を報告する。とくに、環境問題に関与することで自身に生じた変化を「内」と「外」から説明する。さらに、こうした変化をモンゴルにおける地域研究を取り巻く状況の変化と関連づけて、その意味を考えてみたい。

19:30-20:40 ディスカッション

20:40 閉会

21:00 懇談会(希望者のみ JR 茨木駅周辺)

<報告者> 思沁夫(スチンプ)

中国内モンゴル自治区・シリング盟の遊牧民として育つ。弁護士資格を取得した後、中国の法廷審理において、初めて少数民族言語(モンゴル語)を使用した。2002年金沢大学博士課程修了、文化人類学博士。ロシア・クラスノヤルスク国立大学特別要請研究員を経て、現在、大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任助教。

【参加費用】 無料 【定員】 50名(希望者多数の場合は先着順)

【アクセス】 JR 茨木駅・大阪モノレール阪大病院前駅から無料シャトルバスあり。

所在地及びシャトルバス時刻表・乗り場は JICA 大阪 HP(<http://www.jica.go.jp/osaka/>)をご覧ください。

【申込み】 参加申込と件名に記入し、①氏名、所属、電子メールアドレス、②懇親会参加の有無を jicaminseminar@yahoo.co.jp (担当:川崎)まで電子メールでお送り下さい(3月18日(水)〆切)。

勉強会 事務局	国立民族学博物館・先端人類科学研究部 〒567-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 TEL:06-6878-8275/8340 担当者:白川千尋・鈴木 紀
勉強会会場および 当日の連絡先	独立行政法人 国際協力機構(JICA)大阪国際センター 〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25番1号 TEL:072-641-6903 担当者:難波幸子・野田樹

* 本勉強会は JICA 大阪・国立民族学博物館(みんぱく)・大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)が共同で運営しています。